

平成23年度 三重県臨床検査技師会 精度管理報告会(血液像)

済生会松阪総合病院
山本雄一

お詫び

- 昨年度同様メタノール固定を行った標本を配布させていただきました。
- しかし細胞質の染色性が不明瞭で細胞同定が困難であったため、再度標本作製を行い全施設に再送付させていただきました。担当の先生方にはご迷惑をお掛けしまして申し訳ございませんでした。

血液像症例

<症例患者背景>

透析及び血液疾患にてFollow中。

化学療法は平成23年5月にキロサイドが投与されているが現在は対症療法のみ。

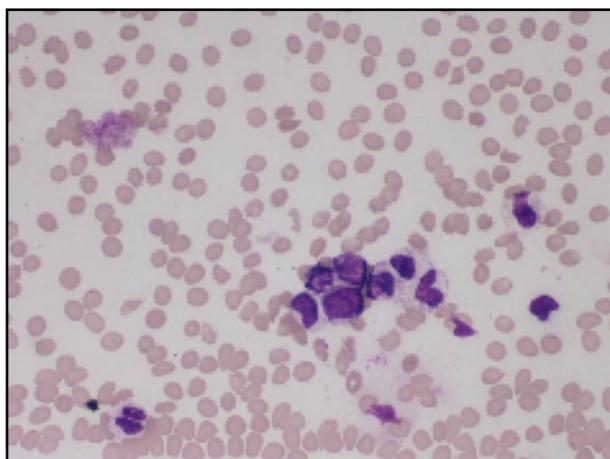
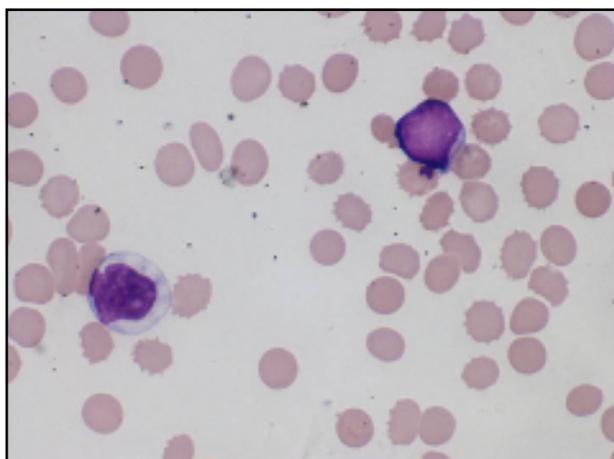
血液検査所見

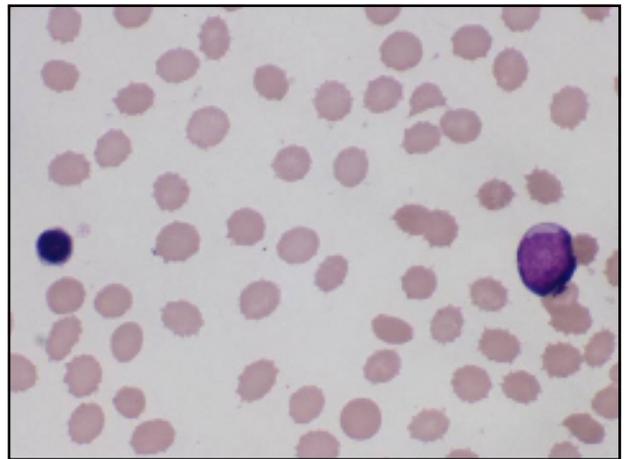
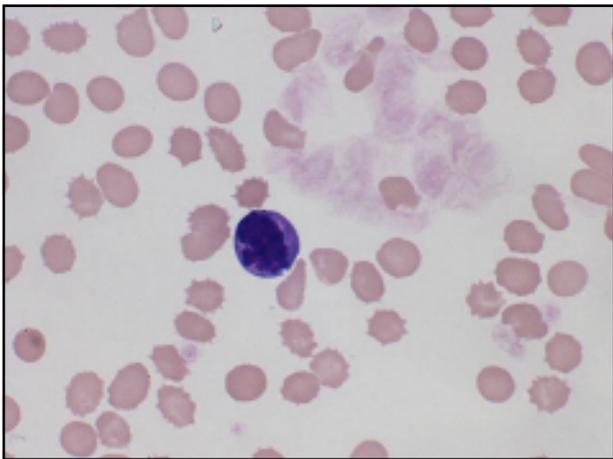
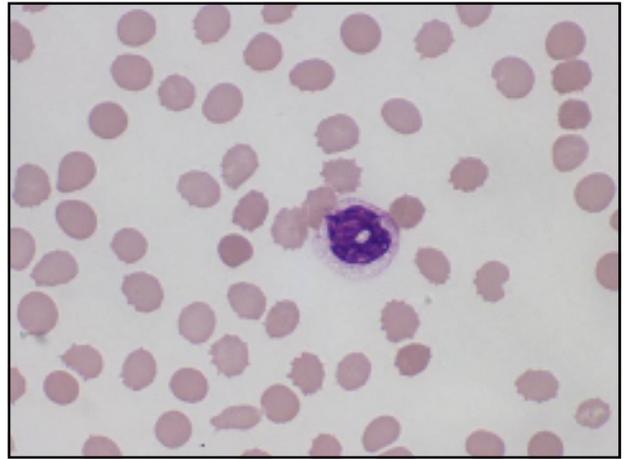
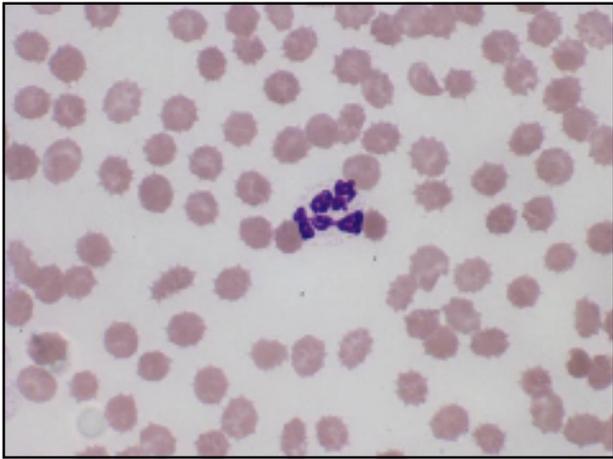
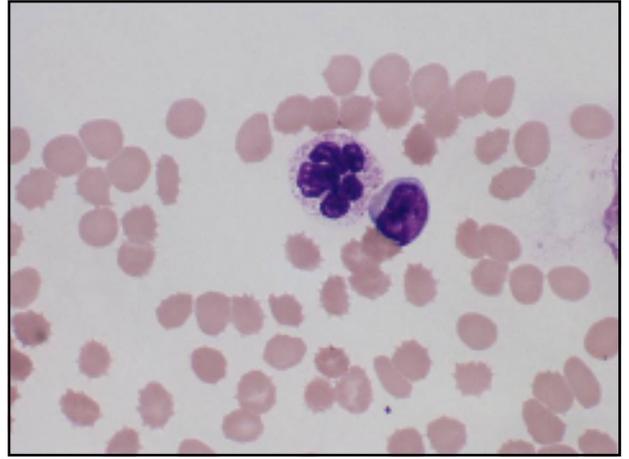
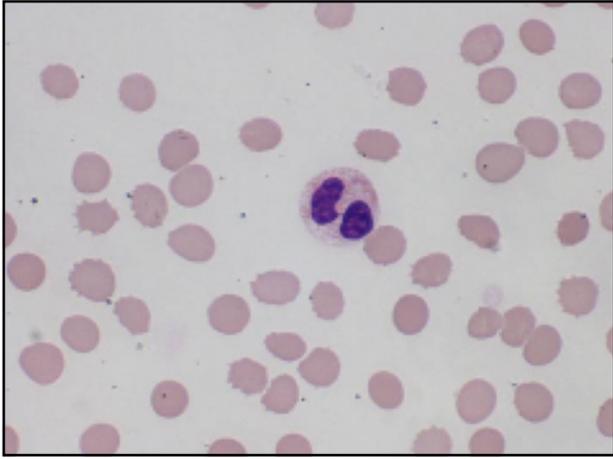
<血液検査所見>

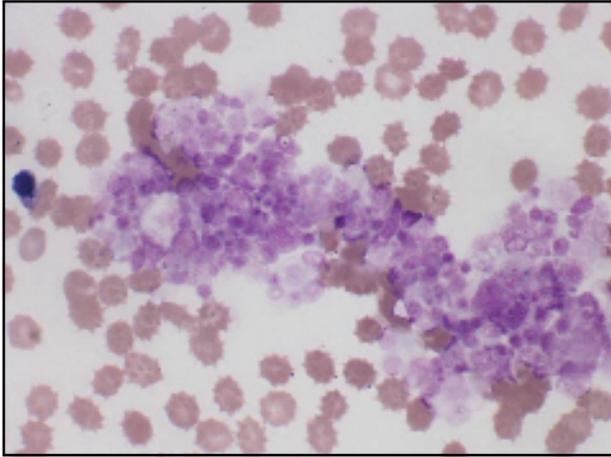
- WBC $3.9 \times 10^3 / \mu\text{l}$
- RBC $1.92 \times 10^6 / \mu\text{l}$
- Hgb 5.7 g/dl
- Hct 17.1 %
- PLT $5.8 \times 10^4 / \mu\text{l}$

<生化学検査所見>

- TP 6.3 g/dl
- LDH 280 IU/l
- AST 10 IU/l
- ALT 10 IU/l







まとめ

- 今年度の精度管理では造血器腫瘍細胞が正しく同定されているか否かの調査を目的で行いました。
- 全ての施設で芽球細胞又は芽球様細胞及び異型細胞を検出し、造血器腫瘍を推定していただきました。
- 細胞所見についても骨髄異形成症候群の経過を推定できる異型性を多くの施設が解答されており、良好な結果が得られたと判断しています。

主な回答が得られた細胞異型性

- 赤血球系: 大小不同(12施設/46施設; 26%)
- 白血球系: 過分葉(13施設/46施設; 28%)
顆粒消失(6施設/46施設; 13%)
偽ベルゲル核異常(6施設/46施設; 13%)
- 血小板系: 大型血小板(11施設/46施設; 24%)
巨大血小板(5施設/46施設; 11%)